

令和5年8月24日
時 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 3 番

氏名 大谷 学

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 東公園周辺の総合的環境整備について

(1) 文教ゾーンの再開発事業について

- ① NTT 黒川町社宅建物撤去工事が令和5年12月22日までの予定で行われている。電電公社から民営化され民間会社となったとはいえ、この場所は元陸軍歩兵21連隊の演習地、つまり元国有地である。また、現在は文教ゾーンでもあり、東公園の一角に位置することから、撤去後の活用等について何らかの相談が浜田市にあってしかるべき場所と思う。このような状況に対し市は何を把握し、どのような認識なのかを伺う。

2. 子育てしやすい都市環境行政について

(1) 「身近な公園整備基本方針」について

- ① 今年3月に策定された「身近な公園整備基本方針」で目指すものは何かを伺う。

(2) 公園の整備状況について

- ① 駐車場や水洗トイレ、さらに子ども向け遊具やバレーボールコート程度以上の広さでボール遊びが可能などすべてが整った公園は、市設置以外の公園も含めて市内に何カ所あるか、その数およびその公園の例を伺う。

(3) 利用者の視点に立った公園設備の周知内容の提案について

- ① 「はまだ子育て応援アプリ すくすく」を見ると公園内に遊具・トイレ・駐車場の有無と公園の位置を示すマップの基本情報の他に Web に誘導し公園内の写真を見ることができる。これをさらに充実させていく必要がある。

遊具・トイレ・駐車場の位置や遊び場の広さができるように公園の全容を示すイラスト風の「敷地全体の案内図」を掲載して現地に行かなくても公園の概要が理解できるようにすべきと思う。親子で行ってみたいくなるように、さらに住んで良かったと思ってもらえるような配慮があると利用しやすいと思うが、考えを伺う。

3. 自己肯定感等を高める体験活動の推進について

(1) コロナ後における体験活動の実施状況について

- ① 新型コロナウイルス感染症に伴い小中学校における郊外での宿泊体験活動は減少したと思われるが、5 類移行後において回復の傾向にあるのかどうか現状を伺う。

(2) 体験活動の位置づけについて

- ① 学校教育において体験活動の意義をどのように捉えているのか、その認識を伺う。

(3) 近年の児童生徒における自然体験・社会体験の量的質的な現状について

- ① 携帯電話の所持の低年齢化や家庭内事情、スクールバスによる登下校など様々な要因により自然体験や社会体験が量的にも質的にも少なくなっているのではないかと危惧する。教育委員会としては、この現状をどのように受け止め改善しようとしているのか、その認識を伺う。